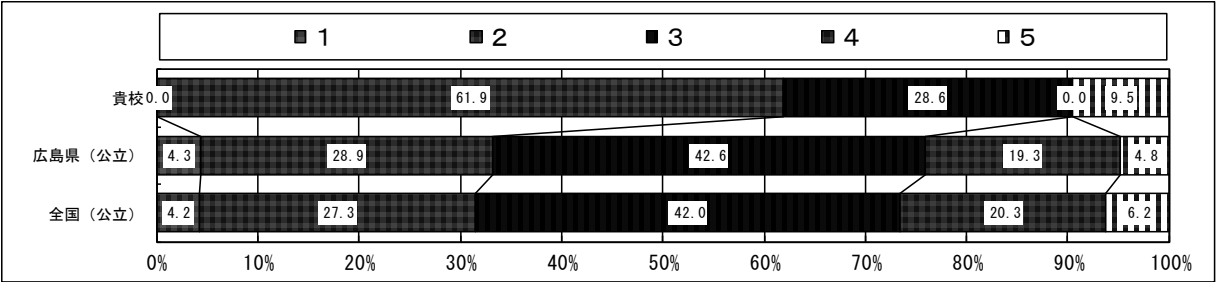


令和7年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた
理科の指導方法等の改善計画

【東広島市立河内中学校】

1 調査結果の概要

	自校	東広島市	広島県	全国
平均 IRT スコア	4 6 7	5 1 7	4 9 5	5 0 3



2 課題が明らかになった問題の分析と改善策

	問題番号	育てたい力	対象学年	授業改善の具体策	検証方法	目標値
1	1（4） 正答率 4．8％	水の中の生物を観察する場面において、呼吸を行う生物について問うことで、生命を維持する働きに関する知識を概念として身に付ける力	第2学年 知技	細胞は生物の体を構成しているだけでなく、生命活動を維持するための働き（呼吸）も行っているということへの意識付けを行う。運動後に息が上がることを例に挙げ、体験的に理解を促すとともに、単細胞生物も同じように生きていることを説明する。	1 1月 ①第2学年に「問題番号1（4）」を実施する。 ②第2学年の関連単元の指導後、単元テストを実施する。	正答率 3 0％ 正答率 6 0％
2	2（1） 正答率 1 1．6％	考察をより確かなものにするために、音に関する知識及び技能を活用して、変える条件に着目した実験を計画し、予想される結果適切に説明することができる力	第1学年 思判表	音の大きさや高さのちがいは、なぜ起こるのだろうかという課題を解決するために、仮説を立て、実験方法を計画しながら、解決していく学習活動を行う。特に、実験の計画時には、結果を予想させながら、どのような条件を変えると結果に影響が出そうかという視点を助言しながら学習に取り組ませる。	1 1月 第1学年に「問題番号2（1）」を実施する。	正答率 1 4％
3	8（2） 正答率 1 6．4％	大地の変化について、時間的・空間的な見方を働かせて、土地の様子とボーリング調査の結果を関連付けて、地層の広がりを検討し、表現する力	第1学年 思判表	模式的な地層モデルを準備し、実際にモデルの一部をくりぬいて観察、実験を行い、出てきた試料をもとに、その地層の広がり方を予想させ、自分の考えを根拠をもとにして説明させる活動を行う。	2 月 ①第1学年に「問題番号8（2）」を実施する。 ②第1学年の関連単元の指導後、単元テストを実施する。	正答率 1 8％ 正答率 6 0％